

仲間の声

■わざわざ炭火をおこし、サンマを焼きました。ビールが旨い、旨い。
矢部 章さん（堺市職労）

■年々疲れがとれず、休日には「爆睡」してしまいます。やりたかったことができません。皆さんの元気の秘訣は何ですか？
松本 侑子さん（大阪市労組）

■イベントが多い職場なので、イベント前は天気予報図にらめっこです。
東野 正則さん（堺市職労）

■オリンピックの競技場やエンブレムに湯水のように使われる税金は、後世のツケにならないようにしてほしいです。
須山 哲さん（吹田水労）

■東京駅が大騒ぎになった「東京駅100周年S.U.C.A.」が手元に届きました。美しいデザインに惚れ惚れ。使うのがもったいないほどのです。
古家 和彦さん（貝塚市職労）

■旅好きな私！これまで1年に1回の海外旅行、数回の国内旅行をしてきたのに、今年は1月に北海道に行ってきた。豊かな生活はこれからは無理なのかな。
梅影 由紀子さん（寝屋川市職労）

■クロスワードパズルが解けて、とてもうれしくな思わずハガキを探しました。
上田 真奈美さん（堺市職労）

輝け子どもたち 「ひらかたこどもまつり」を開催 (枚方市職労保育所支部)

枚方市職労保育所支部は、民間園の働く仲間・保護者・市民とともに手作りの「ひらかたこどもまつり」を毎年10月末に開催しています。

開催のきっかけは保育料値上げ反対からはじまり、1976年から続いています。今は公立保育所の民営化も進み、参加保育所も減りつつありますが、39回もの長い間続いていて同窓会的な役割も果たしています。その中で市職労保育所支部は運営の中心となり、大きな役割を果たしています。

今年は10月25日に開催され、「なかよし舞台」で公



子どもたちの元気なステージ企画

私立の保育所（園）に通う子どもたちが民舞や体操、太鼓演奏などを披露し、かわいい姿をみせてくれました。さまざまな模擬店や無料で遊べる「あそびコーナー」は各保育所の保護者会による出店です。また、実行委員会で作る段ボール迷路や、枚方市職労の江藤委員長による似顔絵コーナーは毎年大人気です。

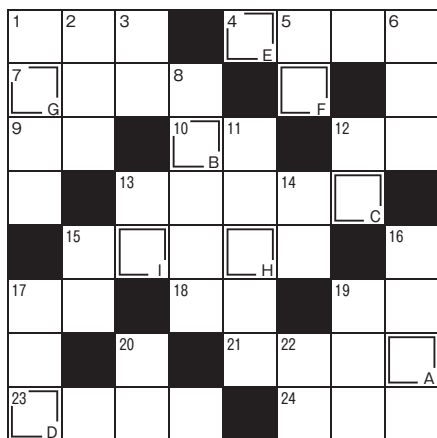
実行委員会を運営することが毎年厳しくなる状況ではありますが、市民とともに作り上げてきたおまつりです。運営の工夫をしながら、笑顔あふれる一日を子どもたちと過ごせるおまつりを継承していきます。

情報ひろば 仲間の報

クロスワードパズル

(解き方)二重ワクの文字をA～Iの順に並べかえてできる言葉を答えてください。

出題者：山本汎昭さん



ヒント：組合員どうしの助け合いだから

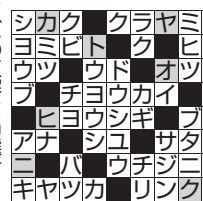
ヨコの力ギ

- 1 湿気の多いこと。高温○○○
- 4 いなびかり、ともいふ
- 7 入学試験の略
- 9 三冠・巖窟・百獣の○○
- 10 ○○せぬ出来事
- 12 ○○霧中
- 13 主役が満を持して○○○○○
- 15 いそがしいなか。○○○○○閑
- 17 たるんだ精神に○○を入れる
- 18 バットが空しく○○を切った
- 19 大坂夏の○○
- 21 刀の刃先
- 23 深夜○○○○・流れ○○○○
- 24 ○○○○服
- 24 尻○○○を並べる

タテの力ギ

- 1 折り紙などで山折りの対
- 2 1週間の終わりのころ。○○○
- 3 末
- 4 彼はこの道の○○だ
- 5 間柄。兄弟○○がよい
- 6 お○○○騒ぎ
- 8 渋谷天外が結成した○○○○○
- 9 新喜劇
- 11 クレーンを日本語で
- 12 ○○に入っては○○に従え
- 13 エッフェル・ピサ・五重○○
- 14 ○○もないのにうつつくな
- 15 投稿したがあえなく○○に
- 16 堪能。温泉情緒を○○○○した
- 17 監督し検査すること。会計○○○
- 19 自分で作ること。○○○自演
- 20 漱石○○○の「坊ちゃん」
- 22 静かに○○糸を垂れる

9月号の解答 「ニハクトオカ」



9月号クイズの正解と当選者

2015年9月号「クロスワードパズル」の正解は「ニハクトオカ」でした。各職場からはがき23通、メール23通合計46人から解答をいただきました。抽選で次の5人のみなさんに図書カードを贈呈します。(敬称略)

▼和田 真 (大阪府職労) ▼上田 真奈美 (堺市職労) ▼松本孝子 (松原市職労) ▼森永憲治 (安野市職労) ▼須山 哲 (吹田水労)

「串」を1本入れるだけ...?



12月号・1月号は合併号として1月15日に発行します

働く仲間のたすけあい 共済コーナー

人生の貯めどき・使いどき

人生には、お金を貯めやすい「貯めどき」と何かと出費がかさむ「使いどき」があります。

貯めどきの1番目は、シングルの時期。賃金が低くても貯蓄の習慣を身につけましょう。2番目は共働きの時期。3番目は子どもが中学に進学するまで。そして貯めどきのラストチャンスは子どもが独立した時と一般的に言われています。

使い時は、子どもが高校から大学の時。何かと出費がかさみます。また、退職後は貯蓄を取り崩しながら生活するので使いどきになります。

定年の頃に子どもが独立していない場合、働き続けることが一番です。

人生の転機で「必要な保障」も変わる

もしもの時には「セット共済」と「貯蓄」で

結婚した、子どもが生まれた、住宅を購入した、子どもが独立したなど人生の転機は保障を見直すタイミングです。一般的には子どもが生まれた時が「必要な保障」が最大となり、成長と共に次第に減ります。また、住宅購入時は「団体信用生命保険」に加入するので、死亡保障は減らせます。掛金の安い「セット共済」に加入して無駄なく備え、労金の財形など、何にでも使える貯蓄を増やしましょう。この機会にご自身の保障を見直して「セット共済」にぜひご加入ください。

人生のイベントにあわせて保障の見直しを!



〈保障を見直すタイミング〉

